

臼杵磨崖仏国宝指定30周年記念企画展

臼杵磨崖仏を これからも 守り伝えるために —再発見からのあゆみ—

令和7年 6/28 土 ▶ 9/22 月

臼杵磨崖仏は、平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて造像された、日本を代表する磨崖仏群です。

ただ、磨崖仏は江戸時代以降荒廃していき、大正時代まで地元の人々のみ知るような存在でした。

そんな磨崖仏を再び世間に知らせたのは、大正2(1913)年の小川琢治博士による磨崖仏の発見でした(大正の再発見)。

本企画展では、再発見から約1世紀にわたり行われた磨崖仏保存に対する取り組みをあらためて振り返ります。



古園石仏中尊大日如来坐像

無料

臼杵磨崖仏国宝指定30周年 記念シンポジウム

8月30日(土) 13:00 ~ / 臼杵市中央公民館ホール

講演者

文化庁文化財第一課 彫刻部門

文化財調査官 井上 大樹 氏

独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
保存科学研究センター

シニアフェロー 朽津 信明 氏

玉川大学教育博物館

准教授 萩原 哉 氏



大正期の臼杵磨崖仏(古園石仏)

臼杵市歴史資料館

【開館時間】9:30~17:30 ※入館は17:00まで



- 休館日
火曜日(祝日のときはその翌日)および12/29~1/3
- 入館料
一般 330円 学生 160円
- 団体料金(20名以上)
一般 280円 学生 140円
- 通年手形(購入から1年間、入館回数無制限)
一般 660円 学生 330円
- 住所
〒875-0052 臼杵市大字市浜 808 番 1
- 連絡先
TEL: 0972-62-2882



ギャラリートーク日程 7月13日(日) 10:30 ~ / 8月10日(日) 14:00 ~ / 9月14日(日) 10:30 ~ (いずれも1時間程度・申込不要)